※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　教養

教科	教養	科目	中国語文化入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	改定新版　高校中国語						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近年中国の人々との交流の機会も増えている。中国語を通して中国の人々の日常生活や文化などに触れ、理解を深め、国際人として生きる教養を身につける。

２　学習の到達目標

・中国語の発音をマスターし、簡単な会話能力を身につける。
・中国語の学習を通じて、日中の文化の違いについて理解し、考察したものを、独自で表現できる力を身につける。
・中国語を学習することを通じて、中国の様々な文化を理解しようとする態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・中国の日常生活でよく使われる言語表現を身につけ、文化や習慣に関する知識を深める。	・学んだ言語表現を使って、状況に応じたコミュニケーションができるようになる。 ・日中の文化や習慣の違いについて理解し、考察することができる。	・中国語や中国の文化・習慣等に興味を持ち、積極的に言語を学び、他文化を理解しようとする姿勢を身につけることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	導入 第1課から第5課	中国語の発音 動詞述語文 形容詞述語文 疑問文 否定文 自己紹介	a: ピンインを正しく読むことができる。 中国語の語順について、基本的な知識を身に付けている。 b:状況に応じて簡単な中国語で、相手に意思を伝えることができる。 c: 授業に積極的に取り組み、参加し、適切な振り返りや質問を行うことができる。	小テスト	小テスト 発表 提出物	発表 提出物 観察
2学期	第６課から第１０課	前置詞 時間を表す表現 可能を表す助動詞 相手の意向を尋ねる表現 許可を求める表現 中国と日本との文化比較①	a:前置詞の使い方、時間や可能を表す表現、相手の意向を尋ねたり許可を求めたりする表現について、基本的な知識を身に付けている。 b:基本的な文型をもとに、自己に合わせた表現をすることができる。 c:両国の文化について、積極的に調べたり考察したりして発表することができる。	小テスト	小テスト 発表 提出物	発表 提出物 観察
3学期	第１１課から第１２課	前置詞＋人＋動詞の構文 中国と日本との文化比較②	a:前置詞＋人＋動詞を使った表現等、やや複雑な文の使い方を理解し、状況に応じた適切な表現方法を身に付けている。 b:適切な疑問詞を用いて質問したり、会話を翻訳したり、複雑な表現を行うことができる。 c:中国語を使って積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。文化の違いについて理解しようしている。	小テスト	小テスト 発表 提出物	発表 提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度